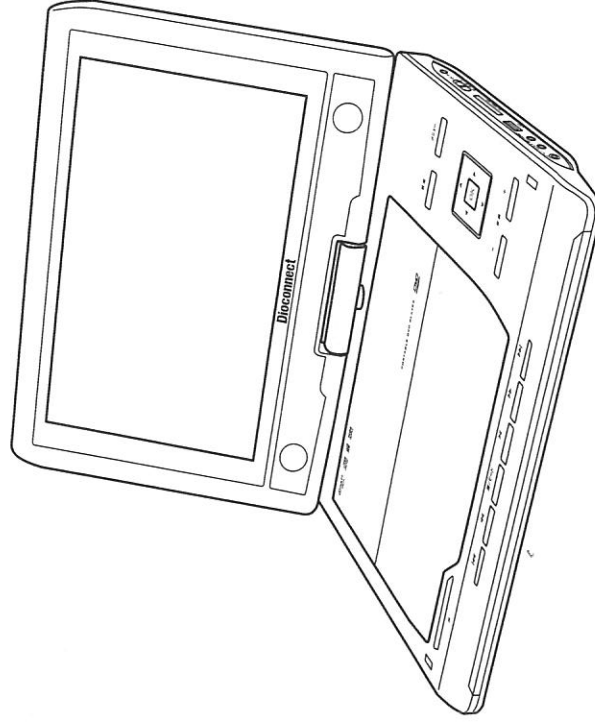


AucSale

DPD-910BK

9インチポータブルDVDプレーヤー 「CPRM方式対応」

取扱説明書



本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

DVD
VIDEO

DOLBY
DIGITAL

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

目次

はじめに	4
本取扱説明書の内容について	4
リージョン番号について	4
セット内容	4
安全上の注意	5
使用上のお願ひ	9
ディスクの取り扱いと用語	10
再生できるディスクについて	10
各部のなまえ	12
本体	12
本体側面	13
リモコン	14
リモコンの準備	15
リモコンを初めて使う	15
電池の交換方法	15
リモコンの使用方法	15
電源について	16
AC電源アダプターの接続	16
シガーソケット電源アダプターと接続する	17
充電電池の充電	18
メディアをセットする	19
ディスクをセットする	19
USBメモリをセットする	19
メモリーカードをセットする	19
基本操作	20
電源のオン/オフ	20
再生するメディアを切り換える	20
音量の調節	21
ヘッドフォン/イヤフォンを使用する	21
モニタ部を回転させる	21
ボタン操作	22
本体・リモコン共通	22

目次

リモコン	23
DVDを再生する	24
DVDをセットする	24
再生の基本操作	24
音楽CDを再生する	25
音楽CDをセットする	25
再生の基本操作	25
いろいろなファイルを再生する	26
基本操作方法	26
動画/音楽ファイルの再生	26
静止画ファイルの再生	27
音楽CDを録音する	28
録音する	28
設定	29
設定の基本操作	29
一般設定	30
音声設定	31
映像設定	32
その他の設定	32
バスワード設定	33
外部機器と接続する	34
外部機器との接続 - 映像・音声出力	34
外部機器との接続 - デジタル音声出力	35
キャリングケースの使用法	36
プレーヤーを車の座席に取り付ける	36
トラブルシューティング	37
仕様	38
アフターサービス	39

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

本取扱説明書の内容について

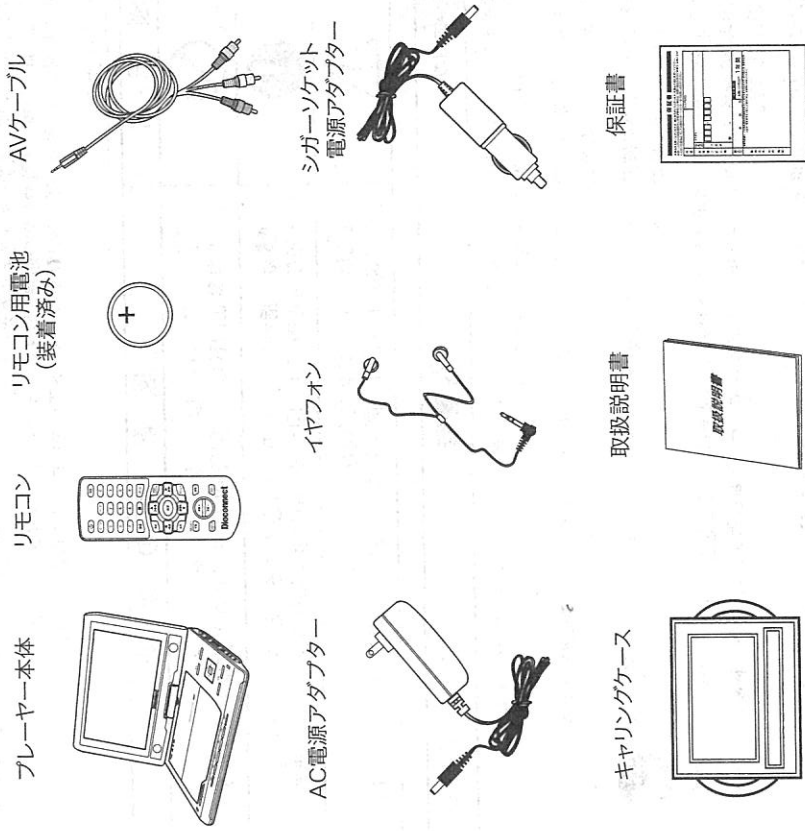
この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク製作者側の意図により再生状態が決められている場合があります。本製品ではディスク製作者側が意図した内容に従って再生をおこなうため、操作した通りに動作しない場合があります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

リージョン番号について

本製品のリージョン番号は2番です。DVDビデオディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に「2」のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本製品では再生できません(このとき画面に表示ができません)。

セット内容

本製品パッケージ内には下記の内容が含まれます。お確かめください。



(注)イラストと実際の形状が若干異なる場合があります。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

- ご使用前に、この『安全上の注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

■表示の説明

表示	表示の意味
	警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
	注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

- *1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- *3：物的損害とは、家屋・家財および家電・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	Ⓢ は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠ は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

- 煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 落したり、本体を破壊したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだり、電源プラグが異常発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してから、コンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

設置されるとき

⚠ 警告

- 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。
火災・感電の原因となります。

- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

- シガーソケット電源アダプターは、12V車のシガーソケットに接続すること。
12V車以外のシガーソケットを使用すると、火災・感電の原因となります。

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。
本製品が落ちて、けがの原因となります。

- 上に物を置かないこと。
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

- 修理・改造・分解をしないこと。
火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は、サポートセンターにご連絡ください。

- ディスプレイから異物を入れないこと。
金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴りだしたら、本製品に触れないこと。
感電の原因となります。

- 電源コードは
 - 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。
 - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。
 - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと。
火災・感電の原因となります。

- ディスプレイ内のレンズをのぞきまなないこと。
目に障害をもたらす恐れがあります。

お手入れについて

⚠ 警告

- 電源プラグの刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜いて、ゴミやほこりをとること。
電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

設置されるとき

⚠ 注意

- 温度の高い場所に置かないこと。
直射日光の当たたる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。
- 風通しの悪い場所に置かないこと。
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
- 壁に押しつけて置かないこと。
○ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんやふとんの上に置かないでください。
- 仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。



禁止



指示

- 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。
電源プラグを抜かずには運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。ドなどを外さずには運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを持って抜いてください。



引っ張り禁止



ぬれ手禁止



電源プラグを抜く

- 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。



禁止

- ディスクトレイに、手を入れないこと。
指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。
ディスクは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

ご使用になるとき

⚠ 注意

- 電源を入れる前には音量を最小にすること。
また、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
接続したアンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。
- ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。
- リモコンに使用している電池は
 - 極性(+)と(-)を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・分解・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと。
 - 電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れたままにしておかないこと。
 これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 電源コードやケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。
火災・感電の原因になることがあります。
- 液晶モニタに衝撃をあてないこと。
けがや故障の原因になることがあります。
- 本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないこと。
けがや故障の原因になります。
- 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。
けがや故障の原因になります。
- ケーブルは足などに引っかからないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。熱器具のそばに配線しないこと。
足に引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



禁止



指示

- ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。
 - ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す。
 - ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
 - コンセントを別にする。

使用上のお願

取り扱いに関する

- 引っ越しなどで、速くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺菌剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障はありません。
- 普段使用しないときは必ず、メディアを取り出し、主電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しない時は機能を支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関する

- 本製品は水平な場所に設置してください。ぐらつく台の上や傾いた所などの、不安定な場所ではないでください。メディアが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関する

- 液晶モニターやボタン等のご扱いは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学薬品などをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

お使いになる前に必ずお読みください。

結露(露付き)について

■ 結露はディスクや本製品を傷めます。以下の注意をよくお読みください。

- 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移したとき。
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

※ 結露がおきそうなときは、本製品をすぐにご使用にならないでください。

● 結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本製品が当たらず、2〜3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくことで“結露(露付き)”が生じにくくなります。



日本国内用です

■ 本製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では電源・電圧等が異なりますのでご使用いたできません。

ディスクの取り扱いと用語

再生できるディスクについて

■ 本製品では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク		映像(動画)+音声	12cm 8cm
音楽用CD		音声	12cm 8cm

■ 以下のディスクも再生できません。

- ・DVD-R/-RW(ビデオモード)
- ・CPRM方式で記録されたDVD-R/-RW
- ・CD-R/-RW(JPEG)

※ 上記以外のディスクは再生できません。

- 上記のディスクでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、再生できないことがあります。
- すべての記録終了時に、終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは再生できません。
- 本製品はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクには使用できません。
- 本製品DVDリージョン番号は2番です。再生するDVDにリージョン番号が表示されている場合は、そのリージョン番号マークの中に『2』または『ALL』が表示されていないと、本製品では再生できません。
- 円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

注意

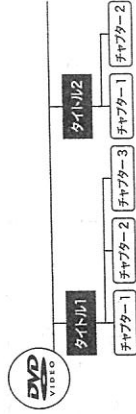
- ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
- CPRM方式で記録されたディスクでも、場合によっては正常に再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いと用語

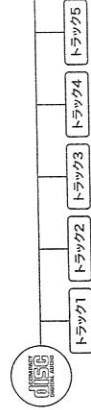
ディスクに関する用語について

■ 一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDなどは「トラック」で区切られています。

タイトル : DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。



トラック : 音楽用CDなどの内容を区切ったものです。



それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。

ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

複製制限機能のついた音楽CDの再生について

■ 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱い方

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 再生面には手を触れないでください。



※ディスクに紙やシールを貼らないでください。
 ※シンナーやベンジン、アナログレコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

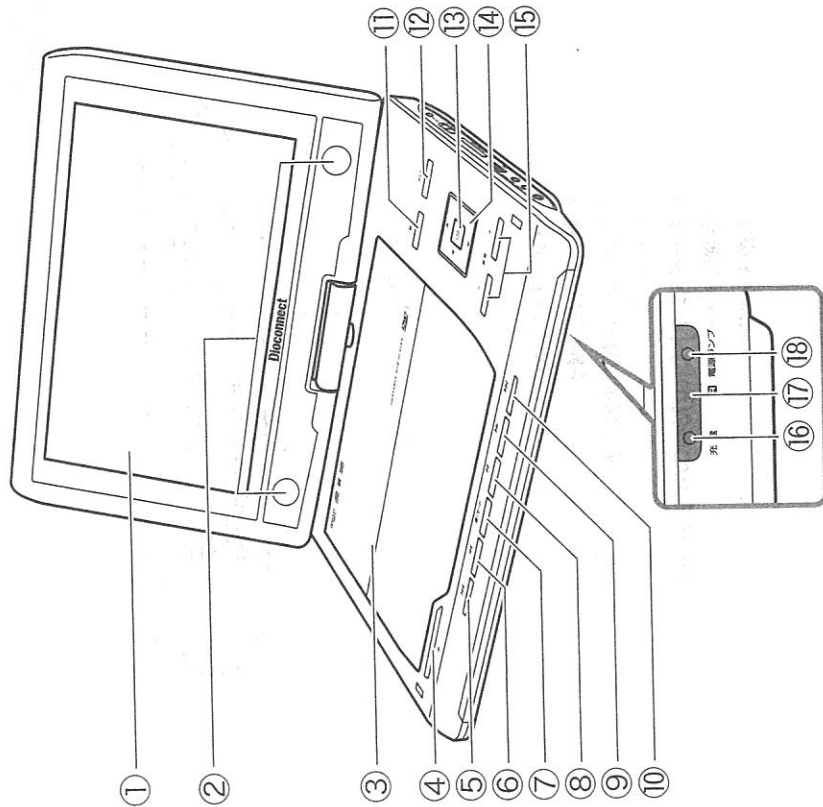
※鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
 ※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。

ディスクの保管の仕方

- 直射日光の当たった場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

各部のなまえ

本体

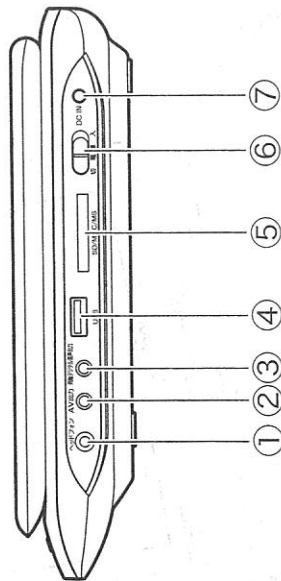


- | | |
|---------------|--------------------|
| ① 液晶モニタ | ⑩ スキップ/次ボタン |
| ② スピーカー | ⑪ 設定ボタン |
| ③ ディスクトレイ部 | ⑫ メニューボタン |
| ④ ディスクトレイ開ボタン | ⑬ 決定ボタン |
| ⑤ スキップ/前ボタン | ⑭ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン |
| ⑥ 早戻しボタン | ⑮ 音量+/-ボタン |
| ⑦ 停止/モードボタン | ⑯ 充電ランプ |
| ⑧ 再生/一時停止ボタン | ⑰ リモコン受光部 |
| ⑨ 早送りボタン | ⑱ 電源ランプ |

各部のなまえ

本体側面

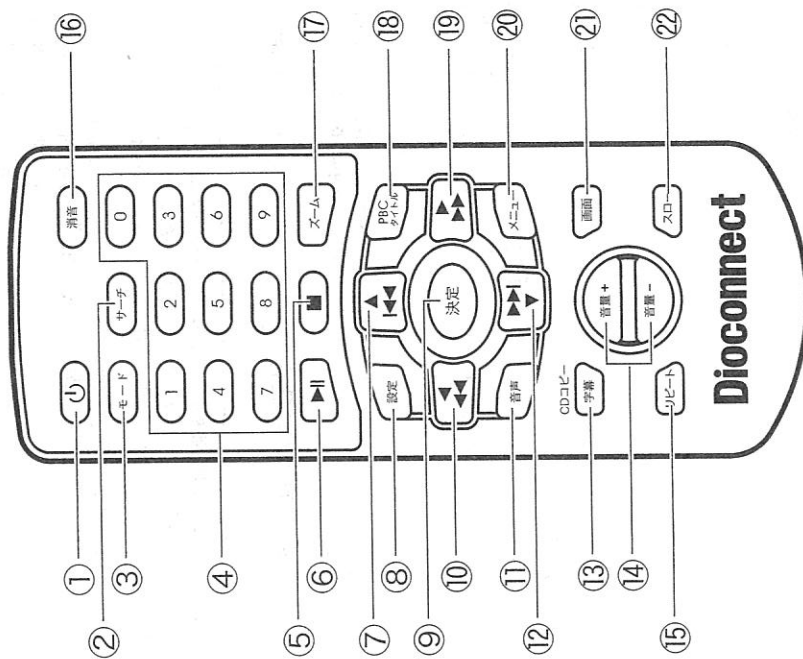
本体右側面



- ① ヘッドフォン出力端子
- ② 映像音声出力端子
- ③ 同軸デジタル音声出力端子
- ④ USB端子
- ⑤ カードスロット(SD/MMC/MSカード)
- ⑥ 主電源スイッチ
- ⑦ 電源入力端子

各部のなまえ

リモコン



- ① 電源ボタン
- ② サーチボタン
- ③ モードボタン
- ④ 数字ボタン
- ⑤ 停止ボタン
- ⑥ 再生/一時停止ボタン
- ⑦ スキップ/前ボタン
- ⑧ ナビゲーション(▲)ボタン
- ⑨ 設定ボタン
- ⑩ 早戻しボタン
- ⑪ ナビゲーション(◀)ボタン
- ⑫ 音声ボタン
- ⑬ スキップ/次ボタン
- ⑭ ナビゲーション(▼)ボタン
- ⑮ 字幕/CDコピーボタン
- ⑯ 音量+/-ボタン
- ⑰ リビートボタン
- ⑰ 消音ボタン
- ⑱ ズームボタン
- ⑲ PBC/タイトルボタン
- ⑲ 早送りボタン
- ⑳ ナビゲーション(▶)ボタン
- ㉑ メニューボタン
- ㉑ 画面ボタン
- ㉑ スローボタン

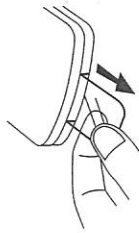
リモコンの準備

⚠ 注意

- リモコンに使用している電池は
 - 対応の電池以外は使用しないこと。
 - 極性表示を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはならないこと。
 - 【使用推奨期限】を過ぎた電池や、使用済みの電池をリモコンに入れたままにしないこと。
- これらを守らないと、液もれ、破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

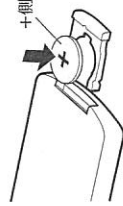
リモコンを初めて使う

ご購入時は付属の電池があらかじめセットされています。絶縁シートを引き抜いてからご使用ください。



電池の交換方法

- ① リモコン裏面にある電池ケースをスライドさせてケースを取り出します。
- ② 新しい電池(タイプCR2025)を、+極を上に向けて電池ケースにセットし、電池ケースを戻します。



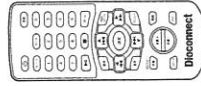
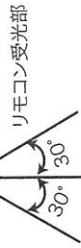
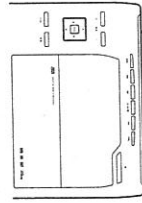
注意

- 電池について
 - リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンについて

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温・高湿になる場所に置かないでください。
- 分解しないでください。

リモコンの使用方法



- リモコンを、プレーヤー本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。
- ※ リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。
- ※ リモコンの到達距離は約4m以内です。

電源について

本製品は、以下の給電で使用できます。

- ① 付属のAC電源アダプター接続による給電(次項目参照)
- ② 付属のシガーソケット電源アダプター接続による給電(→P.17)
- ③ 内蔵赤電池を充電しての給電(→P.18)

接続する前

- 主電源を「切」にしてください(→P.20)。
- 全ての接続が完了した後に主電源を「入」にし、電源をオンにしてください

AC電源アダプターの接続

AC電源アダプターを本体に接続するときは、本体にDC電源プラグを差し込んでから家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ 警告

- AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

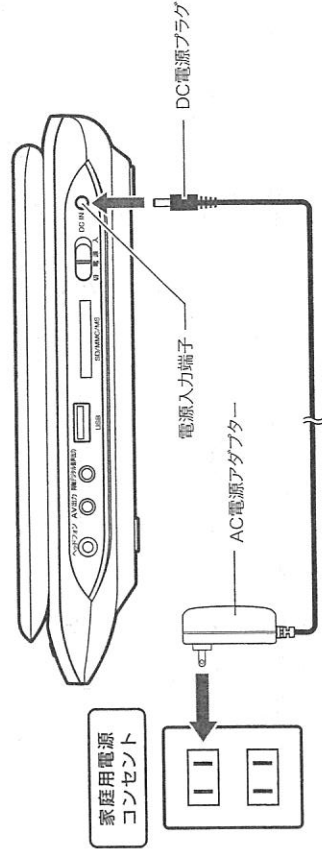


⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。
- DC電源プラグを本体の電源入力端子に差し込んだときに、完全に根元に差し込まれたことを確認してください。
- AC電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- AC電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因をなすことがあります。
- AC電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。



本体右側面



電源について

シガーソケット電源アダプターと接続する

シガーソケット電源アダプターを本体に接続するときは、本体にDC電源プラグを差し込んでから自動車のシガーソケットに接続してください。

警告

- シガーソケット電源アダプターを使用時は、運転の邪魔にならないようにしてください。また、必ず付属のシガーソケット電源アダプターをご使用ください。
- 自動車の運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認した後に行ってください。
- コードを傷つけないでください。火災や断線の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。感電する恐れがあります。
- 安全のため、以下の場所には取り付けないでください。エアバッグの操作/効果の妨げになる場所/運転の妨げになる場所/突起物として危険が生じる場所/強い衝撃が加わる場所

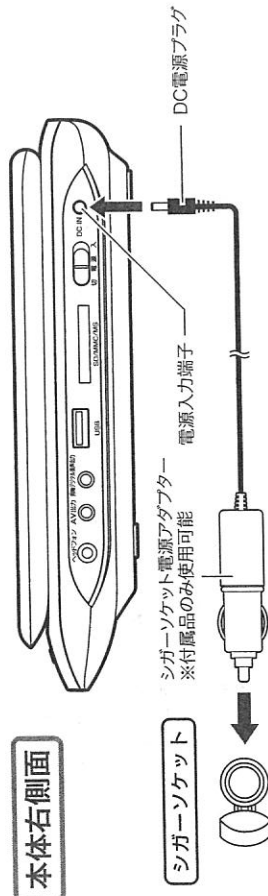


指示

注意

- 車の空調吹き出し口などの温度/湿度が特に高い場所や、直射日光があたる場所には設置しないでください。特に車内は非常に高温になる場合がありますので、ご注意ください。感電の原因となります。
- シガーソケット電源アダプターを車のシガーソケットに差し込むときに、根元まで完全に差し込まれたことを確認してください。
- シガーソケット電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- シガーソケット電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となることがあります。
- シガーソケット電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があります。
- シガーソケット電源アダプターは、感電の原因となります。
- 車種によって、エンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。そのような車種の場合は、エンジン始動時には本製品のシガーソケット電源アダプターを取り外しておいてください。
- 車から離れる際は必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。バッテリー上がりの原因となります。

本体右側面



注意：シガーソケット電源アダプターは12V車専用です。24Vの自動車では使用することができません。

電源について

充電の充電

内蔵充電電池の充電はAC電源アダプターでおこない、主電源を「切」にしてください(→P.20)。

P.16を参考に、本製品をAC電源アダプターで家庭用電源コンセントに接続してください。充電が開始されます。充電中は本体の充電ランプが赤色に点灯します。充電が終了すると充電ランプが緑色に点灯します。充電が終了したら、速やかにAC電源アダプターの接続を解除します。

必要充電時間 : 約5時間
最大再生可能時間 : 約2時間

※充電が切れた後に再び充電を行う際は、10～20分間程、時間をおいてから再充電を行ってください。
※充電を行う際は、必ず付属のAC電源アダプターをご使用ください。
※プレーヤーを使用中に充電する場合は、完了に約8時間程かかります。

警告



禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因となります。
- 本製品に内蔵している充電電池以外を使用しないでください。
- 充電電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 充電電池の充電が所定充電時間を超過しても完了しない場合は、充電を中止してください。
- 本製品を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。
- 本製品を液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大けがや火災の原因となります。万が一、液が目に入ってしまった場合は、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。
- 万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。その後弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- 本製品をお手入れする場合には、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。感電や、充電電池に異常が起こった場合やけどの恐れがあります。



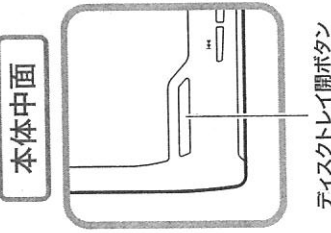
指示

メディアをセットする

ディスクをセットする

本製品に対応した(DVD/CD)ディスクをセットすると、自動的にディスクが再生されます。

- ① 本体の(ディスクトレイ開)ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。
 - ② ディスクを「カチッ」と音がするまでしっかりとセットします。
 - ③ ディスクトレイを指で押し閉じます。
 - ④ ディスクの読み取りが始まります。
 - ⑤ 読み取りが終了すると自動的にディスクの再生が始まります。
- ※ ディスクが自動的に再生されない場合は、(再生)ボタン押してディスクを再生してください。



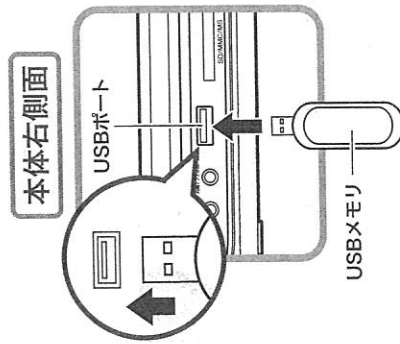
本体前面

ディスクトレイ開ボタン

USBメモリをセットする

本製品は、USBメモリ(別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

- 本体のUSBポートに、USBメモリ(別売)を接続します。接続が難しい場合は、USBケーブル/USB延長ケーブル(共に別売)を使用して接続してください。



本体右側面

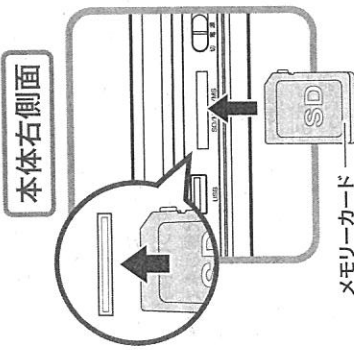
USBポート

USBメモリ

メモリーカードをセットする

本製品は、SD、MMC、MSカード(全て別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

- 本体の電源がオンになっていないことを確認し、本体のカードスロットに、カードをしっかりとセットします。セットされたことを確認したら、本体の電源をオンにします。



本体右側面

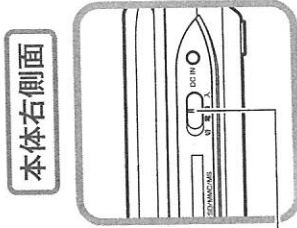
メモリーカード

電源のオン/オフ

主電源のオン/オフ

■ 本体右側面の(主電源)スイッチを「入」の方向に切り換えて、主電源をオンにします。ディスクがすでに入っている場合は自動的にディスクの再生が始まります。

■ 主電源をオフにする場合は、本体右側面の(主電源)スイッチを「切」の方向に切り換えます。



本体右側面

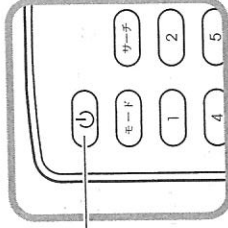
主電源スイッチ

電源をスタンバイにする

■ 主電源がオン状態の時のみ、リモコンの(電源)ボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になります。

再度リモコンの(電源)ボタンを押すと、スタンバイ状態が解除され、電源がオンになります。

※ 長期間本製品を使用しない場合は、必ず主電源をオフにしてください。



リモコン

電源ボタン

再生するメディアを切り換える

■ 再生するメディアを切り換える事ができます。あらかじめ、複数のメディアをセットしてください(→P.19)。

再生するメディアの切り換えは、再生が停止状態でおこなってください。

① 本体の(モード)ボタンを長押し、またはリモコンの(モード)ボタンを押します。

② 画面上に表示される『メディア一覧』より、本体/リモコンの(ナビゲーション)ボタンを押して、再生したい『メディア』を選択します。

DISC: DVDまたはCDディスクを再生します。

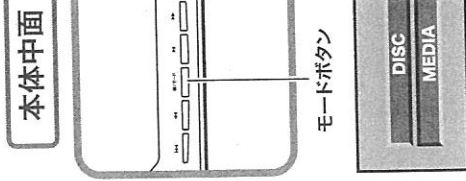
MEDIA

USB: USBメモリ内のファイルを再生します。

SD :SD/SDHCまたはMMC、MSカード内のファイルを再生します。

③ (決定)ボタンを押して、選択したメディアの読み込みを確定します。

④ 選択したメディアの読み込みが開始します。

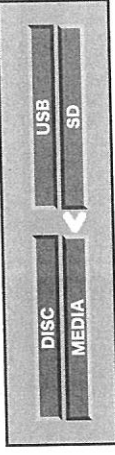


本体前面

リモコン

モードボタン

モードボタン



【メディア一覧】

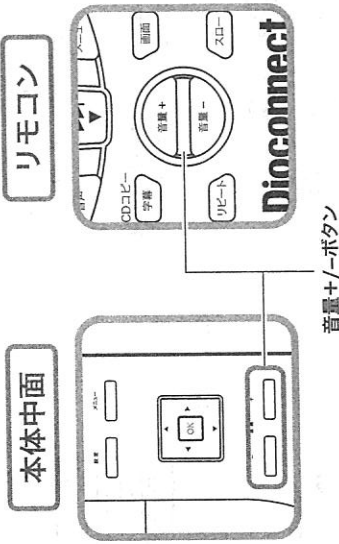
注意

- 一部対応していないメディアがあります。あらかじめご了承ください。

基本操作

音量の調節

■ 〈音量+/-〉ボタンを押して音量を調節します。
 〈音量+〉ボタンを押すと音量が上がり、〈音量-〉ボタンを押すと音量が下がります。

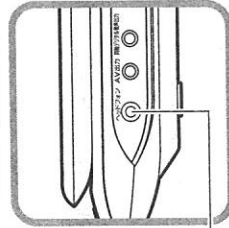


音量+/-ボタン

ヘッドフォン/イヤホンを使用する

■ 本体右側面のヘッドフォン出力端子にヘッドフォン/イヤホンを接続して音声を聞くことができます。接続すると、音声は本体のスピーカーから出なくなり、ヘッドフォン/イヤホンから出るようになります。音量を最小にしてから接続してください。

本体右側面



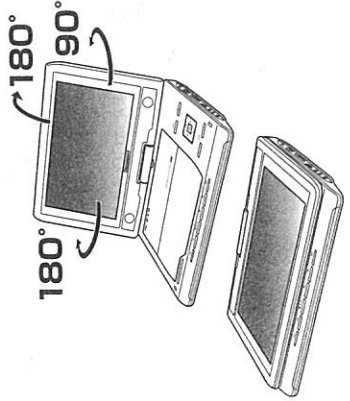
ヘッドフォン出力端子

モニタ部を回転させる

■ モニタ部には回転2軸ヒンジを搭載しているので、様々な向きに変えて映像を楽しむことができます。縦方向に180°、横方向に270°に回転させることができます。

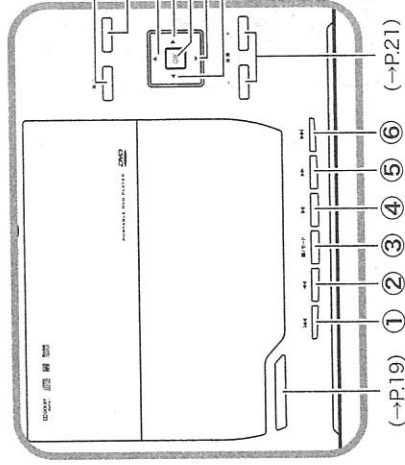
■ モニタを外側にして閉じることができます。

※ 無理な力をかけて回転させないでください。本体の破損の原因となります。



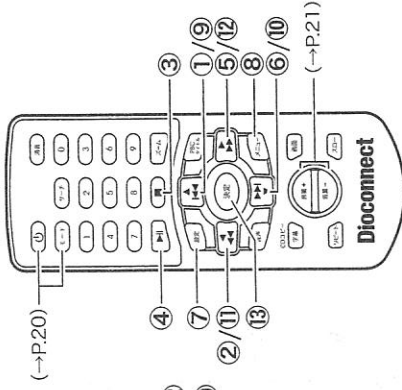
ボタン操作 - 本体・リモコン共通 -

本体中面



(→P.19) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ (→P.21)

リモコン



(→P.20)

(→P.21)

① スキップ/前ボタン

○ 再生中に〈スキップ/前〉ボタンを押すと、前のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。

② 早戻しボタン

○ 〈早戻し〉ボタンを押すごとに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、早戻し再生の速度が切り換わります。

③ 停止ボタン

① 再生時に〈停止〉ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。(再生)ボタンを押すと、再生が開されます。
 ② 再生時に〈停止〉ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。
 ※ 映像/音声ファイルの場合は、1度押すと再生が停止されます。

④ 再生/一時停止ボタン

① ディスクが停止/一時停止状態の時に〈再生〉ボタンを押すと、ディスクが再生されます。
 ② ディスクが再生状態の時に〈一時停止〉ボタンを押すと、ディスクが一時停止されます。
 ※ 再生と一時停止は同一ボタンで操作します。

⑤ 早送りボタン

○ 〈早送り〉ボタンを押すごとに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、早送り再生の速度が切り換わります。

⑥ スキップ/次ボタン

○ 再生中に〈スキップ/次〉ボタンを押すと、次のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。

⑦ 設定ボタン

○ 再生が停止中に〈設定〉ボタンを押すと、設定画面が表示されます(→P.29)。

⑧ メニューボタン

○ 〈メニュー〉ボタンを押すと、ディスクのメニュー画面に戻ることができます(DVD再生時)。

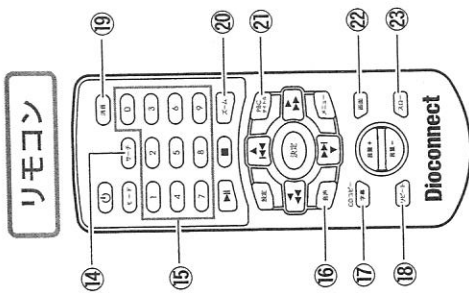
⑨⑩⑪⑫ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン

○ メニュー画面や各種設定画面等で〈ナビゲーション〉ボタンを押すと、項目を移動します。

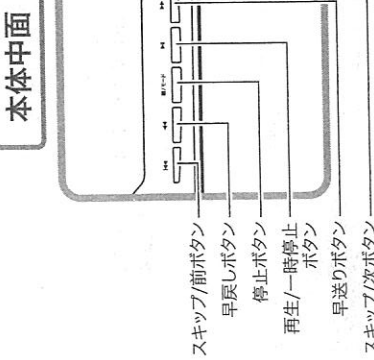
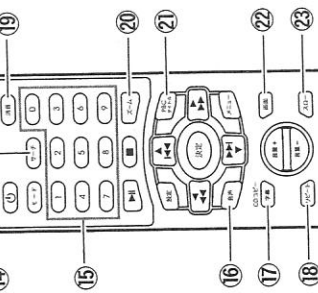
⑬ 決定ボタン

○ このボタンはメニュー画面や各種設定画面等での操作に使用します。(決定)ボタンを押すと、選択中の項目を決定することができます。

ボタン操作 - リモコン -



リモコン



本体中面

14 サーチボタン

○〈サーチ〉ボタンを押すと、画面にサーチ画面が表示されます。数字ボタンでそれぞれの項目を入力指定すると、指定された場面より再生を開始します。
※ 画面ボタンで情報を確認できます。

15 数字ボタン

○プログラム作成、暗証番号入力、CDのトラックの直接選択、ディスクのタイトル/チャプター/時間指定等、数字入力をする際に使用します。

16 音声ボタン

○〈音声〉ボタンを押すとDVDディスクに記録されている音声言語を切り換えることができます。
※ 音声の切り換えは、複数の音声記録されているディスクを再生している時に可能です。

17 字幕/CDコピーボタン

○〈字幕〉ボタンを押すとDVDディスクに記録されている字幕言語を切り換えることができます。
※ 字幕の切り換えは、複数の字幕言語が記録されているディスクを再生している時に可能です。

○ディスクトレイに音楽CDが入っている状態で〈CDコピー〉ボタンを押すと、CDのトラックをUSBメモリーにMP3形式で録音することができます。

18 リピートボタン

○再生中に〈リピート〉ボタンを押すと、リピート(繰返し)再生の設定をおこないます。ボタンを押す毎にリピートの設定が切り換わります。

19 消音ボタン

○再生中に〈消音〉ボタンを押すと、音声が0になります。再度〈消音〉ボタンを押すか、〈音量+/-〉ボタンを押すと、消音設定が解除されます。

20 ズームボタン

○〈ズーム〉ボタンを押すと、表示倍率を切り換えることができます。

21 PBC/タイトルルボタン

○〈PBC/タイトル〉ボタンを押すと、ディスクのタイトル画面に戻ることができます。
※ この機能はディスクによって使用できない場合があります。

22 画面ボタン

○〈画面〉ボタンを押すと、現在再生中のディスクの各種情報をモニタに表示します。

23 スローボタン

○〈スロー〉ボタンを押すと、再生中の動画をスロー再生できます。ボタンを押す毎に設定を変更できます。

DVDを再生する

本製品では、DVDビデオ、DVD-R/RW(ビデオモード)、CPRM方式で記録されたDVD-R/RWのディスクを再生することができます。

DVDをセットする

- ① 本体の電源をオンにします。
- ② 本体の〈トレイディスク開〉ボタンを押してディスクトレイを開き、DVDディスクをセットします。
- ③ ディスクトレイを閉じます。
- ④ 自動的に再生が始まります。

再生の基本操作

再生/一時停止

○〈再生/一時停止〉ボタンを押すと、再生/一時停止します。

停止

① 再生時に〈停止〉ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、〈再生〉ボタンを押します。

② 再生時に〈停止〉ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

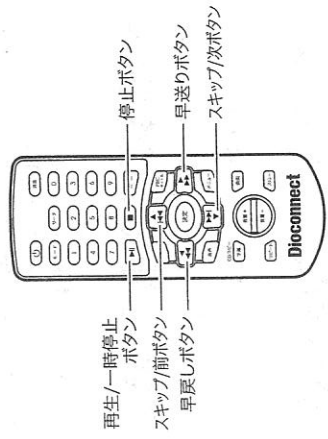
スキップ/早戻し/早送り

① 〈スキップ/前・次〉ボタンを押して、前/次のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。

② 〈早戻し/早送り〉ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.20~23をご参照ください。

リモコン



音楽CDを再生する

音楽CDや、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-R/RWの再生に対応しています。
 ※CD-DAフォーマットの音楽用CD-R/RWは、録音終了時にファイナライズが必要です。また、上記の条件を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

音楽CDをセットする

- ①本体の電源をオンにします。
- ②本体の(トレイディスク開)ボタンを押してディスクトレイを開き、CDディスクをセットします。
- ③ディスクトレイを閉じます。
- ④自動的に再生が始まります。

再生の基本操作

- 再生/一時停止
- (再生/一時停止)ボタンを押すと、再生/一時停止します。

停止

- ①再生時に(停止)ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、(再生)ボタンを押します。
- ②再生時に(停止)ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

スキップ/早戻し/早送り

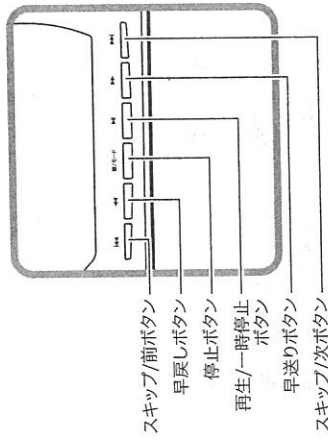
- ①(スキップ/前・次)ボタンを押して、前/次にスキップします。
- ②(早戻し/早送り)ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。

曲番号指定

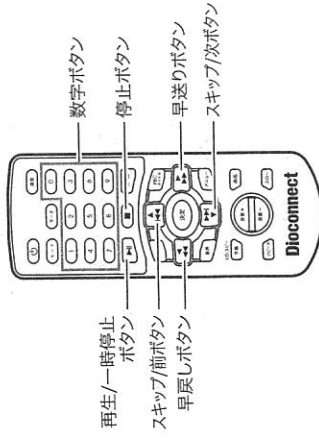
- ①リモコンの(数字)ボタンを押して曲番号を入力します。
- ②指定した曲の再生が開始します。

本ページ記載の他に色々な機能があります。
 本書P.20～23をご参照ください。

本体中面



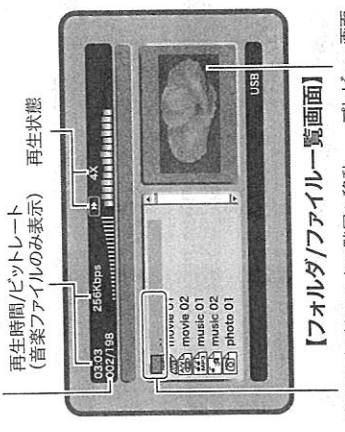
リモコン



いろいろなファイルを再生する

本製品では動画(MPEG4)、音楽(WMA/MP3)、静止画(JPEG)ファイルを再生することができます。再生したいファイルを記録した各メディアを用意してください。
 各種メディアの本製品へのセットの詳細はP.19『メディアをセットする』を、各種メディアの切り換えの詳細は、P.20『再生するメディアを切り換える』を参照してください。

ファイル番号/総ファイル数

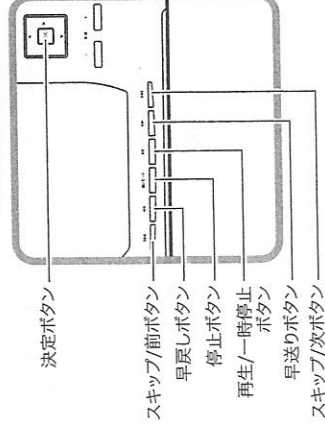


【フォルダ/ファイル一覧画面】

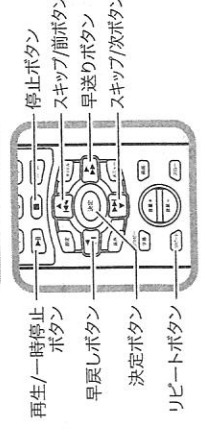
決定/再生ボタンで上の階層へ移動 プレビュー画面



本体中面



リモコン



基本操作方法

- ①メディアを本体にセットして電源をオンにします。
- ②再生するメディアを切り換えます。
- ③読み込みが完了すると、右図のフォルダ/ファイル一覧画面が表示されます。
- ④(ナビゲーション▲▼)ボタンを押して、フォルダを選択します(フォルダがある場合)。
- ⑤(決定/再生)ボタンを押すと、フォルダに保存されたファイル一覧が表示されます。
- ⑥(ナビゲーション▲▼)ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。
- ⑦(決定/再生)ボタンを押すと、ファイルの再生が開始します。

- 一番上のフォルダを選択して(決定)ボタンを押すと、上の階層へ移動します。

動画/音楽ファイルの再生

再生/一時停止

- (再生/一時停止)ボタンを押すと、再生/一時停止します。

停止

- 再生中に(停止)ボタンを1度押すと、ファイルの再生が停止します。

スキップ/早戻し/早送り

- ①(スキップ/前・次)ボタンを押して、前/次にスキップします。
- ②再生中に(早戻し/早送り)ボタンを押すと早戻し/早送り再生します。押すごとに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、再生の速度が切り換わります。(決定/再生)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

リピート機能

- リモコンの(リピート)ボタンを押してリピート再生を設定することができます(→P.23)。

いろいろなるファイルを再生する

静止画ファイルの再生

静止画ファイルの再生は自動的にスライドショーで再生されます。全ての静止画ファイルのスライドショー再生が終了すると、『フォルダ/ファイル一覧画面』に戻ります。

再生/一時停止

○(再生/一時停止)ボタンを押すと、再生/一時停止します。

停止

○再生中に(停止)ボタンを押すと、ファイルの再生が停止します。

回転機能

○静止画ファイルの再生時に(ナビゲーション)ボタンを押すと、画像のアングルを変えることができます。

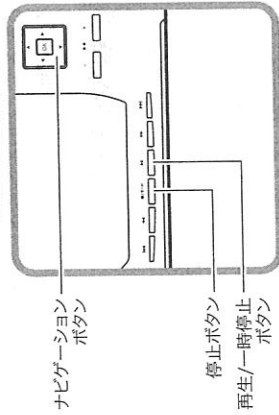
- ▲ボタン：押すごとに上下に反転
- ▼ボタン：押すごとに左右に反転
- ◀ボタン：押すごとに左に90°ずつ回転
- ▶ボタン：押すごとに右に90°ずつ回転

リピート機能

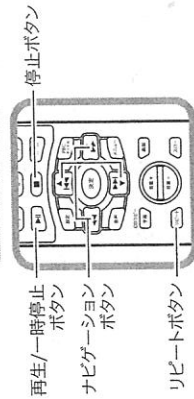
○リモコンの(リピート)ボタンを押してリピート再生を設定することができます(→P.23)。

本ページ記載の他に色々な機能があります。
本書P.20～23をご参照ください。

本体画面



リモコン



注意

- 表示されないファイルは本機で再生できません。また表示されていないファイルでも再生できない場合があります。
- ファイルによっては映像のみを再生して、音声の再生ができない場合があります。
- ファイル名に表示できないコードがある時は、文字化けを起こす場合があります。
- どのファイル形式でも、バージョンやビットレート、設定やサイズなどによっては再生できない場合があります。

音楽CDを録音する

本製品は、音楽CDのトラックをUSBメモリに、MP3形式の音楽ファイルで録音することができます。

録音する

最初に録音元の音楽CDと録音先のUSBメモリを本体に接続しておいてください。

①(CDコピー)ボタンを押して、録音設定画面を表示します。

②(ナビゲーション)ボタンを押して「オブション」項目を選択し、(決定)ボタンで内容を切り換えます。

【速度】

録音スピードを設定します。倍速を選ぶと録音時に音声は出力されません。

【ビットレート】

録音するMP3ファイルのビットレートを設定します。

【ID3情報】

録音するMP3ファイルにID3情報を付与します。
※録音するCDによってできない場合があります。

【メディア】

録音先はUSBメモリのみとなります。メモリーカードには録音できません。

③(ナビゲーション)ボタンを押して「トラック」に移動し、録音するトラックを選択し、(決定)ボタンを押して確定します。選択されたトラックには「✓」が表示されます。トラックの選択を解除するには再度(決定)ボタンを押すと「✓」の表示は消え、選択は解除されます。

【すべて選択】

すべてのトラックが選択されます。

【すべて取消】

すべてのトラック選択が解除されます。

●サマリーには選択したトラック数、選択したトラックの合計時間が表示されます。

④(ナビゲーション)ボタンを押して、「開始」を選択します。(決定)ボタンを押すと録音が始まります。

※録音をせずに終了するには「戻る」を選択するか、再度(CDコピー)ボタンを押します。

⑤録音中は録音画面で進捗を表示します。録音を途中で中止するには(決定)ボタンを押します。

オブション		CD録音	
速度	標準	track01	04:24
ビットレート	128Kbps	track02	03:52
ID3情報	はい	track03	03:30
メディア	USB	track04	03:04
サマリー		track05	04:16
選択したトラック	2	track06	04:05
タイム	08:16	track07	03:53
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

【録音画面】

録音中		CD-録音	
トラック進捗	track01	選択したトラック	done
トータル進捗	track02	track02	45%
キャンセル			
サマリー			
録音中...トラック	02/02		

設定

設定メニューにて、本製品の環境設定をおこないます。

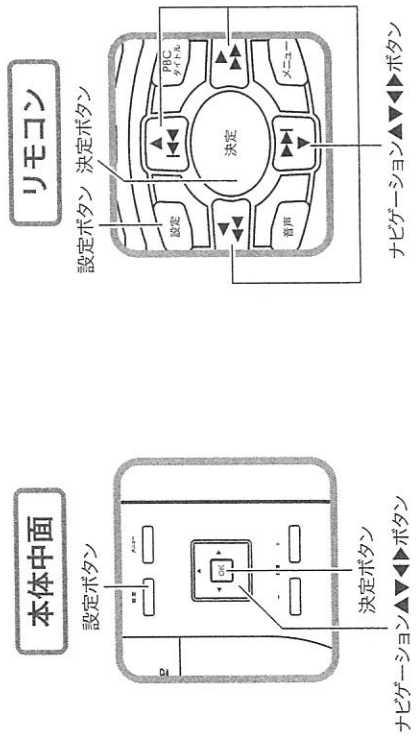
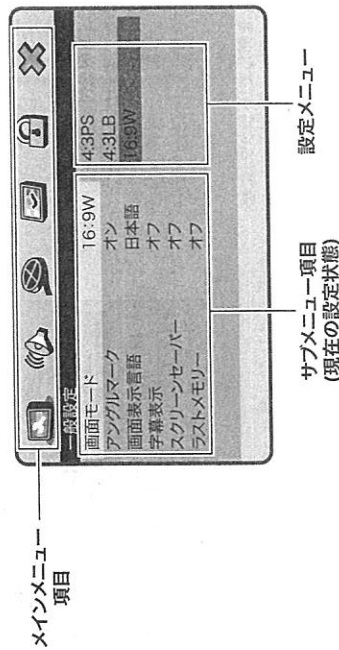
設定の基本操作

あらかじめ本体の電源をオンにします。

- ①再生を停止した状態で**〔設定〕**ボタンを押します。
※メディアの読み込み中は設定をおこなえません。読み込みが終わるまでお待ちください。
- ②**〔ナビゲーション〕**ボタンを押して、メインメニュー項目を選択します。
- ③**〔ナビゲーション〕**または**〔決定〕**ボタンを押して、サブメニューへ移動します。
- ④**〔ナビゲーション〕**ボタンを押して、サブメニュー項目を選択します。
- ⑤**〔ナビゲーション〕**または**〔決定〕**ボタンを押して、設定メニューへ移動します。
- ⑥上記の手順でお好みの設定メニュー項目を選択した後、**〔決定〕**ボタンを押して設定を確定します。
- ⑦設定操作を終了する場合は、再度**〔設定〕**ボタンを押すかまたは、メインメニュー項目の**〔戻る〕**ボタンを押します。

設定メニューにて、本製品の環境設定をおこないます。

【設定画面】



設定

一般設定

■ 画面モード

接続するテレビの形状に合わせて、優先したい画面形状を設定することができます。

4:3PS (パンスキヤン)
4:3の画面で16:9のワイド映像を見るために、左右を切り取り表示する方法です。
画面のサイズはワイド画面の場合と同等に表示できます。

4:3LB (レターボックス)
4:3の画面で16:9のワイド映像を見るために、上下に黒い帯を表示させる方法です。
表示が小さくなりますが、ワイド画面のすべてをみることができます。

16:9W (ワイド)
16:9ワイドテレビを本製品に接続している場合に、設定してください。

■ アンダールマーク

色々なアングルで撮影された画像を記録しているDVDディスクを再生中、アングルを切り換えた際のアイコン表示の設定をすることができます。

オン

現在の切り換えたアングルのアイコンが常に表示されます。

オフ

アングルを切り換えた後、一定時間が経過するとアイコンが非表示になります。

■ 画面表示言語

画面表示の言語を日本語と英語のどちらかより選択することができます。

■ 字幕表示

字幕言語が記録されたDVDディスクを再生する場合、字幕表示の設定をすることができます。

オン

字幕が常に表示されます。

オフ

字幕が常に非表示になります。

■ スクリーンセーバー

再生画像の一時停止状態が長く液晶画面の焼き付きが起る原因となります。本機能はこの現象を防止することができます。

オン

スクリーンセーバー機能がオンになります。

オフ

スクリーンセーバー機能がオフになります。

注意

- DVDには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、本設定の画面形状通りに再生されないことがあります。
- プレーヤー本体を4:3のテレビに接続した状態で「16:9」を選ぶと、再生画面に水平方法の歪み、縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

設定

■ ラストメモリー

本機能をオンにするとDVDディスクの最後に再生を停止した箇所を本機が記録し、同じ箇所より再生を再開します。※ディスクの状態により本機能が働かない場合があります

オン

ラストメモリー機能がオンになります。

オフ

ラストメモリー機能がオフになります。

音声設定

■ デジタル出力(デジタル設定)

オフ

アナログ端子でテレビやオーディオ機器と接続しているときに選択します。

SPDIF/RAW

接続される外部のアンプに未加工のデジタル音声信号(Dolby Digital)を直接入力し、外部のアンプにて個々の音声信号変換ができるとき(デコード機能があるとき)に選択します。

SPDIF/PCM

接続される外部のアンプに未加工のデジタル音声信号(Dolby Digital)を直接入力ができない場合、本機でデジタル音声信号を加工して出力する必要があるときに選択します。

※通常はRAWで接続し、信号入力がない場合はPCMに切り換えてください。

※同軸デジタル音声出力(→P.35)をおこなう場合に、本設定をします。

■ PCMチャンネル(デジタル設定)

上記のデジタル出力で「SPDIF/PCM」に設定した場合、PCMの出力設定をおこないます。

SPDIF L/R

L/T/R/Tと呼ばれるサラウンド成分をドルビーサラウンドにデコードできるようにダウンスミックスします。

SPDIF LS/RS

LO/ROと呼ばれるステレオミックスでオリジナルがサラウンド成分を含まない3/0のようなチャンネルでも適用されます。

SPDIF C/LFE

LFEチャンネル対応のDVDディスクを再生時に設定します。

■ リニアPCM出力(デジタル設定)

PCMの出力設定をします。48kHzまたは96kHzより選択します。

■ イコライザー(イコライザー設定)

さまざまな音声設定をおこないます。

イコライザー

音質を設定します。以下の項目より設定します。

・なし/ロック/ポップ/ライブ/ダンス/テクノ/クラシック/ソフト

バスブースト

低音域出力機能をオン/オフに切り換えられます。

スーパーバス

重低音域出力機能をオン/オフに切り換えられます。

トレブルブースト

高音域出力機能をオン/オフに切り換えられます。

設定

■ 3Dエフェクト

エフェクト

さまざまな場所での音響効果を再現します。以下の項目より設定します。

・オブリビングルーム/ホール/バスルーム/洞窟/教会

映像設定

■ 画質設定(外部接続)

接続した外部機器に出力される映像の画質を設定します。

鮮明度

映像の鮮明さを設定します。以下の設定項目があります。

・高/中/低

明度

映像の明るさを「-20~+20」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

コントラスト

映像のコントラストを「-16~+16」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

■ 画質設定(本機)

本機で再生される映像の画質を設定します。

鮮明度

映像の鮮明さを設定します。以下の設定項目があります。

・高/中/低

明度

映像の明るさを「-20~+20」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

コントラスト

映像のコントラストを「-16~+16」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

色度

映像の色調を「-9~+9」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

その他の設定

■ テレビ信号方式

国によって、映像出力方式が異なります。本製品をテレビに接続する際の映像出力方式の設定を行うことができます。お使いの接続するテレビに合わせて設定してください。

PAL

ヨーロッパなどの国で使用。

マルチ

「PAL」と「NTSC」の両方に対応します。

NTSC

日本、米国、その他の国で使用。

※日本でご使用の場合は「NTSC」または「マルチ」に設定してください。

設定

■ PBC

リモコンの(PBC)ボタンを押すとディスクのタイトル画面に戻る機能を設定することができます。
※ この機能はPBC機能を持ったディスクでのみ使用できます。

オン

PBC機能がオンになります。

オフ

PBC機能がオフになります。

■ 視聴制限

視聴制限のある映像ソフトを再生する場合、制限レベルの変更時にパスワードの入力が必要となります。

①お好みの制限レベルを選択し、〈決定〉ボタンを押します。

②パスワード入力画面が表示され、リモコンの数字ボタンで正しいパスワードを入力すると、「OK」の項目が選択できる様になります。〈決定〉ボタンを押します。
下記の「パスワード設定」の項目を参照してください。

■ 初期化

設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

パスワード設定

■ パスワードモード

パスワード機能の使用設定をすることができます。設定時にパスワードを入力します。

オン

パスワード機能がオンになります。

オフ

パスワード機能がオフになります。

■ パスワード

パスワードの変更設定をおこないます。

①「旧パスワード」の項目に以前設定した、または初期設定されたパスワードを入力します。

②「新パスワード」の項目に、新しく設定したいパスワードを入力します。

③「パスワード確認」の項目に、「新パスワード」をもう一度確認のために入力します。

④「OK」で〈決定〉ボタンを押して決定します。

※工場出荷時は暗証番号は「0000」に設定されています。

※工場出荷時の暗証番号「0000」は、新パスワード作成後もマスター番号として継続使用できます。

外部機器と接続する

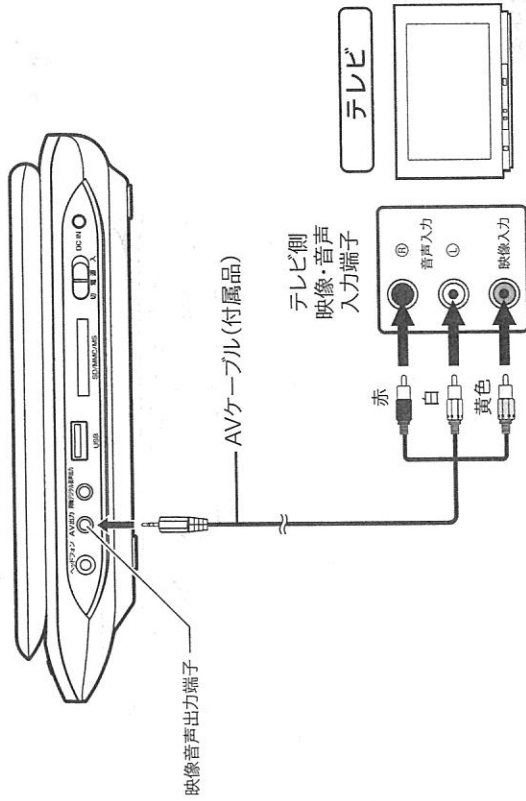
外部機器との接続 — 映像・音声出力

■ 接続する前に

- ・本製品および接続する機器の主電源を「オフ」にしてください(→P.20)。
- ・接続する機器の説明書もお読みください。

■ 本製品の映像と音声をテレビに出力する

本体右側面



注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

外部機器と接続する

外部機器との接続 — デジタル音声出力

■接続する前に

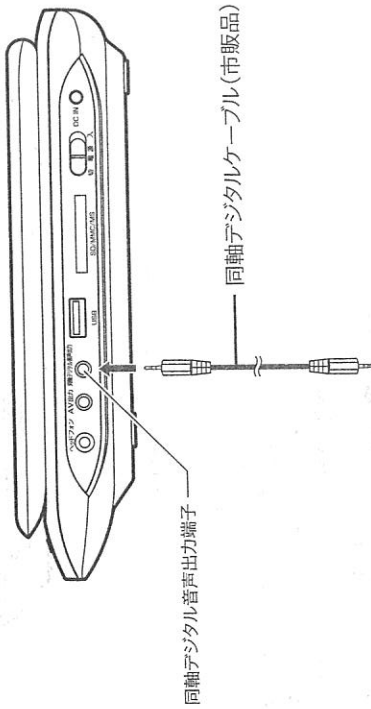
- ・本製品および接続する機器の主電源を「オフ」にしてください(→P.20)。
- ・接続する機器の説明書もお読みください。
- ・突然の大きな音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調整してください。
- ・本製品の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜いたりするときは、必ず接続機器の電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

■接続した後

音声設定にある、『デジタル設定』をおこなってください(→P.31)。

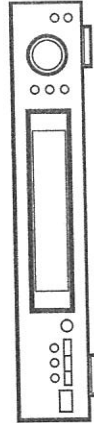
■ドルビーデジタルデコーダー内蔵のデジタルアンプと接続する

本体右側面



外部機器

アンプ側
同軸デジタル入力端子



注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、本製品からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

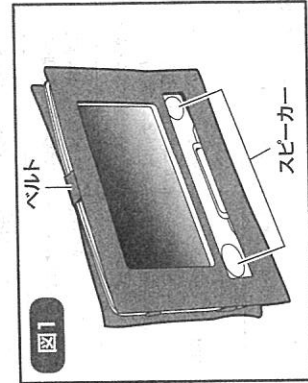
キャリングケースの使用法

⚠注意

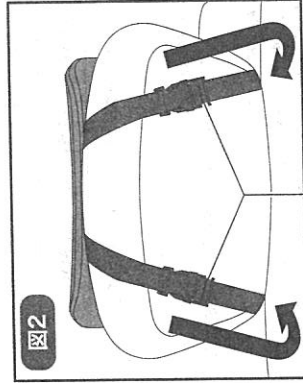
- DVDプレーヤーは運転中に鑑賞・操作をしないでください。事故の原因となる場合があります。
- キャリングケースを使う場合は、後部座席に乗り込んでいる方のみご鑑賞ください。
- エアバッグなどの安全上の妨げにならないよう使用してください。



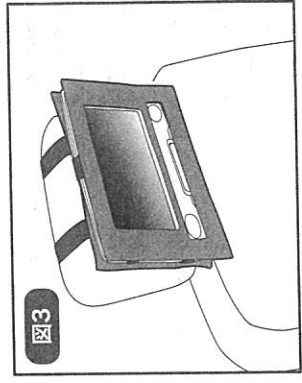
プレーヤーを車の座席に取り付ける



- ① 付属のキャリングケースにプレーヤー本体をセットします(図1参照)。
モニターとスピーカーが正しい位置になるように調整してください。
最後に本体がしっかりと固定されるように、上部のベルトをしめてください。



- ② 前座席にあるヘッドレストにキャリングケースのベルトで固定します(図2参照)。
本体がしっかりと固定されるように、アジャスターでベルトの長さを調節してください。



- ③ 運転の振動でプレーヤーが揺れない様にベルトで固定しながら、鑑賞しやすい位置に調整してください。

シガーソケット電源アダプターと接続しながら鑑賞したい場合は、P.17を参照してください。

仕様

●故障かな・・・?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	処置・確認
接続したテレビに画像が映らない 乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○テレビの入力切り換えは正しいですか。テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るように切り換えてください。 ○AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 ○テレビ信号方式の設定が間違っている可能性があります。設定を確認してください。
映像の跡が残る	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間同じ画面を表示していると、画面を変えた時に残像が発生する場合があります。表示する映像を変えたり、一度電源をオフにすると正常に戻ります。
電源が入らない (画像も音声も出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグが抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○主電源スイッチがオフになっていませんか。スイッチの位置を確認してください。 ○内蔵充電電池の電池残量がなくなっている可能性があります。充電してください。 ○リモコンの電池残量がなくなっている可能性があります。新しい電池と交換してから再度電源ボタンを押してください。
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ○ケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 ○ケーブルでつないでいる機器の電源が入っていますか。 ○音量が0または消音になっていませんか。音量+ボタンで音量を上げてください。 ○「鮮明度」や「コントラスト」などの設定をかえてみてください。
色がない	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいにしてください。
画像や音声が乱れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクのコピー防止機能が働いている可能性があります。ディスクの状態を確認してください。
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスクのコピー防止機能が働いている可能性があります。ディスクの状態を確認してください。
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアが正しくセットされているか確認してください。 ○本製品では再生できない種類のメディア、ファイルの可能性ががあります。種類を確認してください。 ○ディスクを裏返しに入れていませんか。確認してください。 ○ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいしてください。 ○視聴制限設定がされている可能性があります。設定を解除・変更してください。
ディスクが決められた通りの再生 ができない	<ul style="list-style-type: none"> ○リピート再生などをしていませんか。確認してください。
操作ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ○静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。主電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> ○電池の極性が表示通り正しく入っているか確認してください。 ○電池を新しいものと交換してみてください。 ○リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか? ○リモコンと本体の間に障害物があると、リモコンの信号が本体に届かない場合があります。 ○本体のリモコンの信号の受光部に強い光等が当たっていませんか?
操作を受け付けない	<ul style="list-style-type: none"> ○一旦主電源をオフにし、再度主電源をオンにして操作してみてください。

液晶タイプ	9型ワイドTFT液晶
画素数	横640×縦234ドット
アスペクト比	16:9(4:3選択可)
再生可能メディア	DVD-VIDEO、CD-DA、DVD-R/-RW(CPRM対応含む)、CD-R/-RW、SD/SDHCメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)、メモリースティック(Duo/Pro/Pro Duo)、USBメモリー
対応フォーマット	DVD-VIDEO、CD-DA、JPEG CD
対応ファイル形式	MPEG4、MP3、WMA、JPEG
映像方式	NTSC、PAL
画面表示言語	日本語、英語
音声最大出力	スピーカー 2W×2、ヘッドフォン 10mW×1
スピーカーサイズ	φ 23mm
入出力端子	映像音声出力端子×1、同軸デジタル出力端子×1、USB端子×1、ヘッドフォン出力端子×1、SD/MMC/MSカードスロット×1、
電源	本体:DC入力端子 12V ACアダプター使用時 AC 100~240V~50/60Hz シガーソケット電源アダプター使用時 DC 9~12V 内蔵型リチウムイオン充電電池
消費電力	約18W
外形寸法	(W)190×(H)43×(L)250mm(突起部除く)
質量	約990g(バッテリー含む)
使用環境	温度:5~35℃ 湿度:5~90%(結露なきこと)

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。
※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW(ビデオフォーマットのみのみ)はDVDビデオとして再生できますが、使用するディスクの特性、汚れ、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性等により再生できない場合があります。
※CD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
※CPRM方式で記録されたディスクは再生できませんが、記録状態によっては再生できない場合があります。

液晶画面について

- 以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
- 一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
 - 明るさむらが生じる場合があります。
 - 太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービス

◎ 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されており、保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。)

◎ 修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「トラブルシューティング」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記までご相談ください。

○ 本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。

本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものが
ございますがご了承ください。
本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。